東大阪
発行所
株式会社 東大阪新聞社
第6971号
〒577-0802
東大阪市小阪本町1-1-7
エフエスビル2F
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603
八尾柏原支社
〒581-0013
八尾市山本町南6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893
東大阪・八尾柏原の地域紙
購読ご希望の方はお気軽にお電話下さい

のびのび健康倶楽部
―膝痛・腰痛予防の体操教室―

菱屋西会場
テアシス院長 **大向克昌さん**

腰痛の改善指導をする大向克昌さん（左）

7月24日、のびのび健康倶楽部（本部・大阪市）の東大阪支部が、東大阪市菱屋西公民分館永和分室（東大阪市永和2―15―25）で、「毎日3分でできる腰痛予防体操教室」を開催した。

講師は東大阪俊徳道・テアシス院長の大向克昌さん（43）＝写真＝が担当した。大向さんは柔道整復師の資格を持ち3年間の整骨院勤務と1年間の病院勤務の後、16年前に整体院テアシスを開業した。

かりやすく丁寧な説明に聞き入っていた。根源的なポイントとして、なぜ腰痛が治らないのか？　スライドを使って、下半身の鼠径部と腸腰筋との密接な関係を説明、腰そのものの痛みではないことを説明した。

素人判断で腰痛のポイントを理解せずに、マッサージ・指圧・鍼・ストレッチ・電気療法等を試してみてもあまり効果は期待できない。

実技の体操教室では、腰痛の改善法を9人全員に個別指導した。①胸式呼吸が大事なこと、②骨盤を持ち上げる運動、③椅子につかまり身体を上下させる。いずれも毎日2～3回でOK、時間・場所を選ばずに気軽に続けることが肝要だと説明があった。

教室終了後は受講者各自が自身の悩み、現況を大向さんに話してアドバイスを求めていた。腰痛や膝痛の悩みを抱えていても、整骨院や整体院を訪れるのを躊躇する人もいるだろう。まずは体操教室を体験して、本格的な治療に進むのが得策だ。

次回の予防体操教室の開催は、8月10日14時～と8月28日10時～。テーマは「腰痛」、会場は菱屋西公民分館永和分室。（小川秀人）

テアシス（整体院）
東大阪市横沼町3―4―6
TEL 06―6720―5393

瓢箪山会場
やはた整骨院 **八幡　晋さん**

膝痛の改善指導をする八幡晋さん（左）

6月18日、のびのび健康倶楽部（本部・大阪市）の東大阪支部が、四条市民プラザ（東大阪市南四条町1―7）で「膝痛が出にくい体を作る体操教室」を開催した。

講師は瓢箪山サンロード商店街・やはた整骨院の八幡晋（すすむ）さん（41）＝写真＝が担当。八幡さんは柔道整復師であり、14年間の臨床経験を経て5年前に整骨院を開業した。

受講者は11人の高齢者だったが、八幡さんの映像を用いた説明に熱心に聞き入りしきりにうなずいていた。座学の後は会場いっぱいにマットレスを敷き詰めて実技指導に入り、受講者各自に丁寧な説明がされた。

八幡さんによると、「難病を抱えた患者の日常を取り戻すための施術プログラム」は肩こり・膝痛・腰痛の対処にも有効とのことで、現在活動メンバーが80人いるそうだ。病院や学校関係からも高く評価されている。

最後に膝痛とサヨナラする方法の説明があった。膝痛の原因は①軟骨減少のせいでもない、②ヒアルロン酸が必要でもない、③筋力不足・加齢のせいでもない、④やせないと治らないわけではない。では、その改善法は？　身体全体の歪みを治すこと。膝痛はハムストリング（下肢後面を作る筋肉の総称）のバランスに問題がある。ポイントはハムストリングに尽きるとのことだ。

やはた整骨院で診察・施術してもらうのが一番の早道だろう。

次回の予防体操教室の開催予定日は、8月1日。「腰痛編」日下市民プラザ第2会議室（東大阪市日下町3―11―7）で開催。

やはた整骨院
東大阪市昭和町3―3
菊屋ビル3F
TEL 072―981―2211

好評放映中　毎週木曜日19:00～19:30　8月
視聴は http://www.higashiosaka-n.com

東大阪新聞チャンネル

- **1日** ゲスト：亀井澄夫さん「日本妖怪研究所代表にしてマルチクリエイター」（キャスター：小川秀人遊軍記者）
- **8日** ゲスト：根岸健太郎さん「fmGIGパーソナリティーという生き方」（キャスター：小野元裕社長）
- **15日** ゲスト：中津孝司さん「米中貿易戦争の影響」（キャスター：小野元裕社長）
- **22日** ゲスト：田中強志さん「廃プラの現状」（キャスター：石河亮平編集委員）
- **29日** ゲスト：三谷真一さん「河内新聞の記者になって」（キャスター：小野元裕社長）

モノづくり企業に

シアトルからのお客様

山本秀雄社長（右）が部品加工を説明

野田金属工業株式会社（東大阪市鴻池徳庵町4―8）はモノづくりの東大阪の中でもユニークな存在だ。建築関係部品加工を主体とした鈑金加工業だが、小ロットや単品、一見難しそうな依頼品でもまず断ることをしない。これは創業者で現相談役、野田邦雄さん（90）の創業以来のポリシーだ。

その最たるものが2000年以来、ニューヨーク在住のアーティスト・野田正明さんのパートナーとして制作を続けている「創作モニュメント」だ。多くの金属加工会社が匙を投げたモニュメント制作を、野田邦雄さん率いる職人集団が見事に結実させた。

梅雨の晴れ間となった7月16日、大阪商業大学バスケットボール部コーチ西田辰巳さん引率のもと、米国シアトル近郊のバスケットボールクラブ（11人）が同社を見学に訪れた。見学としては137グループ目であり、米国からは初めての団体だ。

工場見学の後、野田相談役が旧満蒙開拓団時代に作った「命をつないだ鍋」の話を、シアトルの青年に語って聞かせた。通訳を介してではあるが、野田さんの熱いメッセージは彼らの心に届いたことだろう。

米国バスケットボールクラブが野田金属工業㈱を見学

枚岡～瓢箪山商店街めぐり
楽しいお店紹介―㉟

炭火焼肉
岩倉

精肉業から焼肉屋に

今回紹介するのは、15年の11月に開業したサンロード商店街・三番街の炭火焼肉岩倉。

元々精肉業で仕事をしており、「肉の森田屋」で精肉加工や店頭販売などの業務を8年ほど経験し、一念発起して炭火焼肉店を開業した。

肉料理といっても様々な種類がある。牛肉のステーキ、鶏肉料理・牛・豚肉のしゃぶしゃぶ、すき焼き、ぼたん鍋、羊肉のジンギスカン。最近では健康食ブームのせいか馬肉も人気があるようだ。

岩倉さんは精肉のプロであり、肉の目利きで仕入れに間違いはない。上バラ・ロースなどは言うに及ばず、手羽先やホルモン類もしっかりメニューが揃っている。もちろんアルコール類もリーズナブルな価格で用意している。生中ジョッキを280円（クリアアサヒ）で大サービスしており、美味しいホルモンとキムチで何杯でもお代わりしたくなる。

客層は地元の人が多いが、クチコミで遠方からやって来る女性グループも増えているという。ワインや韓国マッコリもホルモン類と相性がよく人気を呼んでいる。

岩倉さんはこれからも安くて美味しいものをお客さんに提供していきたいと笑顔で語っていた。（小川秀人）

炭火焼肉　岩倉
東大阪市喜里川町2―19
TEL 090―1961―5902
営業時間：18時～22時30分
（土日祝は17時～22時30分）
定休日：火曜日

パーソナリティー根岸健太郎さん
fmGIG番組「ワイガーヤ！」
本紙社長小野元裕が出演

ねぎ蔵こと根岸健太郎さん（42）がパーソナリティーを務めるインターネットラジオfmGIGの番組「ワイガーヤ！」に、本紙社長の小野元裕が出演し収録した。ゲストを迎え、30分間ワイワイガヤガヤおしゃべりする番組で、毎週金曜日20時30分～21時（再放送毎週土曜日13時30分～14時）放送。ぷりんS企画の王子由美さんがアシスタントとしてフォローする。

収録では、東大阪新聞で取り組んでいる「明日の有名人」、東大阪大学短期大学部で昆虫食を研究する松井欣也教授などの話題で盛り上がった。

前の時間に収録を終えたばかりの時長瑠美子さん（一般社団法人社会福祉学び支援協会代表理事）も合流して番組作りを行い、あっという間に30分が過ぎた。

放送日は8月9日。fmGIGのホームページ http://www.fm-gig.net にアクセスすると、聞くことができる。

左から根岸健太郎さん、小野元裕、時長瑠美子さん、王子由美さん

晴耕雨読

選挙は遠のくばかり

個性のない参院選だった。自分ファーストで6年間の安定的就職先を選ぶかのように思えた。驚いたのは「当確」が開票早々に出る情勢分析だった。

投票所は人海戦術だ。まず受付は2人組で紙の名簿をくりながら本人を確認する。それに選管と地元人による立ち会い、会場誘導係を含めると最小単位でも20人近い人が関わっている。

手書き方式も問題だ。世の中は金融機関のATM（現金自動預け払い機）や自動券売機、飲食店などタッチパネルだらけ。登録した候補者名の画面にタッチするだけでムダは省ける。書く方式では誤字・脱字や無関係な名前、読めない字や記号などを書く人がいるので、有効か無効かの判定人が後方に控えている。デジタル化でこれらの問題は解消する。

2025年には「団塊の世代」が75歳になり、80歳以上が急増する。人生100年時代における投票の仕方を情報技術を用いて早急に改革すべきだろう。

投票率は予想通り48・80％と参院選で過去2番目の低さ、18、19歳は31％とは情けない。期日前投票は年々増加している。働き方の多様化もあり、鉄道ターミナルや商業施設、大学などの投票所（当日も）を増設したいものだ。普及しない写真付きマイナンバーカードを活用することである。

深刻なのは地方の低投票率。「移動難民」「役所統廃合」などの影響でこのままでは選挙は遠くなるばかり。在外邦人向けにネット投票の実証が始まったが、ネット投票の実施は喫緊の課題だ。

投票率は本気度の値だ。投票率は政党や候補者への評価である。多様性を尊ぶ参院では、似たり寄ったりの金太郎アメ型よりも尖った個性（主張）をもつ有言実行型の金平糖人間がふさわしい。

2019・8・1

暑中お見舞い申し上げます
社会福祉法人 累徳学園
理事長・園長 松本兼典
〒577-0803 東大阪市下小阪1丁目27―3
TEL 06―6721―5226
FAX 06―6721―5256

東大阪営業所 〒577-0007 大阪府東大阪市稲田本町3―7―17
株式会社 東華機械
代表取締役 東修平
FAX 06―6746―6844
E-mail azuma.s@donghua-sh.com（日本・中国共通）

小ロット 機械部品加工

明文堂工業株式会社
〒578-0984 東大阪市菱江三丁目十四番三十号
代表取締役社長 村岡万巧
電話（〇七二）九六六―八七三一
FAX（〇七二）九六六―八七三五

官公需適格組合
東大阪市水道工事業協同組合
理事長 家亦邦男
役員・組合員一同
事務所 東大阪市水道会館内
東大阪市菱江二―一―三四
TEL（〇七二）九六一―四三七二

株式会社ギャップコーポレーション
代表取締役 梅田剛
〒537-0013 大阪市東成区大今里南1丁目22―14 今里ビル506
TEL 06―4306―3090
FAX 06―4306―3091

プリント基板製造の外形加工
プレス・ルーター加工及び金型製作設計
株式会社 藤原電子工業
http://www.fdk-ltd.jp/
〒581-0042 八尾市南木の本二―五一
TEL（〇七二）九九一―三九二七
FAX（〇七二）九九一―三九九六
fujiwara-denshi@nyc.odn.ne.jp

明るい・楽しい・アットホームな教習所
運転免許取るならYAOKYOで！
八尾自動車教習所
八尾市高安町南七丁目二十一番地
☎（072）999―1234
HP：http://www.yaokyo.net/

ウエス販売
≪商品紹介≫
～色メリヤスウエス～（1kg￥350）
～混合ウエス～（1Kg￥200）
～タオルウエス～（1kg￥400）
～白メリヤスウエス～（1Kg￥500）
☆不用になった中古衣料やタオルから、ウエスに適した原料だけを選別加工し商品として仕上げました。障がいを持つ利用者が手作業で丁寧に裁断し、梱包をしています。地球に優しく、皆様に愛される商品を目指しています。
社会福祉法人ヤンググリーン
障害ワークセンター will
〒577-0023 東大阪市荒本1-4-32
TEL：06-6789-6171
FAX：06-6789-6172

大雨　洪水　津波　台風

こんな時の必需品
災害時対応の「人引車（じんびきしゃ）」
一般社団法人災害避難研究所
マツモラ産業株式会社
共同開発
監修（一社）災害避難研究所
企画開発 大興産業株式会社
製造 マツモラ産業株式会社
TEL 072-925-3450
大阪の元気！ものづくり企業

立命館大学 DMUCH
歴史都市防災研究所
との共同開発！

えぇっ!?
環境活動して会社の業績UP??
ほんまかいな～
……もっちょい詳しく TEL：072-991-8878
O-KES
特定非営利活動法人 グラウンドワーク八尾 大阪KES環境機構（O-KES）
詳しくはこちら→ http://www.gw-yao.com

自分史・社史出版のお手伝い
記憶は一代、記録は末代
地元八尾の出版社だからこそできるきめ細かな本作り
著者と編集者が二人三脚で本作り
株式会社 ドニエプル出版
TEL.072-926-5134
八尾市山本町南6-2-29
FAX.072-921-6893

八尾柏原版
八尾柏原支社
八尾市山本町南6－2－29
TEL 072－926－5134
FAX 072－921－6893

茶吉庵にみやびな音色ひびく

八尾恩智「おものぎの里」文化祭

恩智神社（八尾市恩智中町5）の大鳥井の前に「茶吉庵」というリニューアルされた古民家がある。近鉄恩智駅下車、恩智神社に向かうこと徒歩8分。ここは陶芸やヨガ、らくらく体操など様々な文化活動の拠点だ。年に2回の「おものぎの里」文化祭は日ごろの練習成果をお披露目する発表会でもある。地元の人たちによるもので入場・出演はすべて無料。

6月2日、午後の部では音弦NEOによる琴の演奏と天理教中河大教会雅楽部による雅楽演奏と舞楽。みやびの世界に50人を超える聴衆は魅了された。その舞台を取材した。

雅楽演奏と舞楽「陵王」

十数人の奏者による雅楽器の生演奏は古民家の中庭によくひびいた。雅楽は今から1400年前、飛鳥時代の中国のころ中国、インド、ベトナムなどから伝来し、日本古来の音楽と融合して、平安時代になって、日本人に合うようにアレンジされた方のモチベーションが上がらなかった。そこで、おそろしい面をつけて軍を鼓舞させたという故事にちなんでつくられた舞だ。

勇壮闊達な一人舞の傑作と言われる「陵王」。刺繍が施された龍のきらびやかな衣装をまとい、激しく、時には穏やかに舞うのは、天理教中河大教会雅楽部の西川知広さん（46）である。

河内木綿の問屋を営んでいたという古民家・茶吉庵は築250年だ。子どもの頃、カヤ葺きだった茶吉庵を知る細川寿美子さん（71）は「地域に密着して、なかなか鑑賞できない雅楽や舞楽などいいものをタダで見せてもらえて感動しています」と話した。また、八尾のサークルとしてフラダンスを次回12月のフェスティバルで披露するという。

琴や雅楽など日本の代表的伝統文化が郷土の伝統的建造物と一体になる演出は秀逸だ。これからの季節は薪能がふさわしい。伸びしろが大きいだけに期待したい。（石河亮平）

トリは舞楽「陵王」

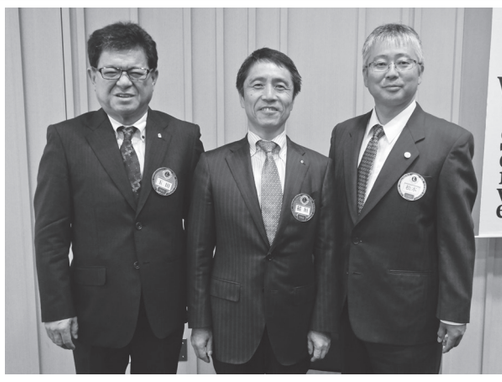
南北朝時代に実在した悲劇のヒーローの物語。彼はあまりにも美しく優しくて民衆に慕われたが、戦時には味方のモチベーションが南北朝時代に実在した悲劇のヒーローの物語。彼はあまりにも美しく優しくて民衆に慕われたが、戦時には味方のモチベーションが

天理教中河大教会雅楽部が熱演

茶吉庵
代表者　萩原浩司
八尾市恩智中町３－１
ＴＥＬ 072-943-7007
E-mail info@chakichian.co.jp

友愛の絆を未来へつないでWe Serve

八尾ライオンズクラブ初例会開催


八尾ライオンズクラブの新３役（左から玉田浩会計、稲垣俊彦会長、松本忠賜幹事）

八尾ライオンズクラブの第1423回例会が7月9日に八尾商工会議所（八尾市清水町1）で開かれた。2019年度の初例会とあって、参加者は溌剌とした気持ちで参加した。

会長に株式会社日本海の稲垣俊彦社長（58）が、幹事に株式会社ポリセンターの松本忠賜社長（54）が、会計に医療法人幸晴会中谷クリニックの玉田浩常務理事（64）がそれぞれ就任した。

「稲垣丸」の出港ということで、稲垣会長は船長に扮して、参加者を喜ばせた。松本幹事、玉田会計はそれぞれ船員の姿に扮し、稲垣会長をサポートした。「友愛の絆を未来へつないでWe Serve」という会長テーマを掲げて奉仕活動に取り組む。

なお、八尾市内のライオンズクラブ、ロータリークラブの新会長は次の通りだ。

八尾中央ライオンズクラブ＝能勢昌彦会長、八尾菊花ライオンズクラブ＝西村敏昭会長、八尾うぐいすライオンズクラブ＝柴田堯子会長、八尾ロータリークラブ＝笠井実会長、八尾東ロータリークラブ＝長尾穣治会長、八尾中央ロータリークラブ＝露原行隆会長。

会場は定員を超え大入り満員

本当の「道鏡」を落語で

新たに作った道鏡落語を披露する林家染太さん

八尾菊花ライオンズクラブは落語家・林家染太さんを招いて6月23日午後、龍華コミュニティセンター3階（八尾市南太子堂2）で「道鏡落語」の会を開いた。会場は50人の定員を超え立見席を含めた大入り満員状態だった。

この企画について主催者の八尾菊花ライオンズクラブの北畑英樹氏（社会福祉法人英芳会施設長・医学博士）は趣旨を次のように語った。

「道鏡の人物評価が芳しくなく悪人扱いされているので、書物などで調べると、そうではなくたいへん偉いお坊さんだったことが分かりました。八尾市東郷人だったことを知り、郷土の誇りにしたいと思います」

昨年3月、八尾ライオンズクラブはプリズムホールで特別事業シンポジウム「いにしえの由義寺跡から」を開催した。今回はその入門編といえるもの。

林家染太さんは関西大学卒業後、4代目林家染丸さんに入門。天満繁昌亭を中心に全国各地で独演会、テレビ・ラジオで活躍中。とりわけ英語、フランス語、スペイン語などを駆使しての落語は高い評価を得ている。国際派の若手だ。5月はニューヨーク、カナダ、フランス、スペインで公演、8月にはブタペスト（ハンガリー）で演じるという。

まずは古典落語「時そば」。うどんに置き換え汗をかきながらの炎上熱演の後、1分で衣裳替え。お坊さんの話らしく僧衣姿（？）で再登場。

「続日本紀」をもとにして、由義寺建立（770年）の記述から始まり、道鏡の生い立ち、称徳天皇との出会い、権力争いのなか法皇へと頂点を極めていく波乱万丈の生涯を自作のフリップをめくりながら面白く、真面目に演じた。

会場は、はちきれんばかりの笑いの波状攻撃で揺れていた。

「幻の都」といわれた由義寺（七重の塔）遺跡や称徳天皇、道鏡などを通じて、郷土の歴史と文化を落語で身近に引き寄せる企画だった。

同郷の人びとが道鏡の時代を語り始めた意義は大きい。1300年前は八尾が国の中心（首都）だったことを誇りにし、大切に後世へ伝えたい。（石河亮平）

八尾菊花ライオンズクラブが主催

連載小説

ウクライナを歩く ―― 130

小野元裕

「国民のしもべ」が第１党に

テレビの選挙速報を見ながら、タラス教授の苦虫を噛み潰したような表情を思い浮かべた。

当初は10月に予定されていたウクライナ議会選だったが、ゼレンスキー新大統領は四面楚歌の状態で持たないと判断し、前倒しして今日7月21に断行したのだ。1院制、定数450だが、クリミア半島や東部では選挙ができないので、424議席となっている。

ゼレンスキーは富豪コロモイスキーの傀儡として大統領となったものの、新しく作った政党「国民のしもべ」を支援する人は少ないと考えていたタラス教授の希望的予想は大いに覆された。選挙結果は、「国民のしもべ」42％超で第1党に。親露派政党「野党連合」13％、ポロシェンコ前大統領の「欧州連合」8・6％、ティモシェンコ元首相の「祖国」8％、人気歌手バカルチュクの新党「声」6・4％。当初ゼレンスキーは「声」と組む意向を示していたが、単独過半数を確保できることが分かった途端、手を結ぶことをやめる声明を出した。

それにしても、「欧州連合」がここまで不人気なのかと驚かされる。キエフだけでなく、各都市のあちこちにポロシェンコの大きなポスターを掲げて挑んだ選挙戦だったが、無残とも言える数字だ。ポスターには「EUに入ろう」と書かれている。国民は、汚職まみれのプロの政治家よりも素人の人気者がいいのだ。言葉だけのEU入り、ロシア対抗措置に疲れ果てたのだろう。

2500年前に書かれた中国の兵法書「孫子」は、長期戦がいかに国力を損なわせ、国民を不幸にするかを説いている。ロシアとの戦争で費やした5年の歳月は長過ぎた。今後もいつ終わるとも知れない戦い。国民は疲れ切っているのだ。

寄稿

田辺聖子作品のように時代が変わっても色あせない作品を書きたい

旅行作家　野田裕子

大学の大先輩である田辺聖子さんが6月6日にお亡くなりになった。もちろん大学在学中から先輩であることは知っていたが、まさか自分が田辺聖子さんについて書く日が来るなんて、当時の私は考えもしていなかっただろう。

僭越ながら、私と田辺聖子作品との思い出をここで書いてみようと思う。

初めて田辺聖子の世界に触れたのは大阪樟蔭女子大学の在学中。きっかけは1984年に発表された「ジョゼと虎と魚たち」が2003年に映画化され、当時付き合っていた彼と一緒に映画館まで見に行ったのが最初だったことを思い出した。

足が悪いジョゼと大学生の恒夫の不安定で不思議でエロティックな恋愛関係を描いた作品だった。ちょうど梅雨時のような、薄暗い世界の中に垣間見える明るさに、なんと表現すればいいか分からない初めての感覚で、見終わった後にただただ切なさが残った。20歳だった私はこの結末に納得できず、原作を読まなくてはと本屋に走った。

16年の時が経ち、もう一度原作を読んだ。他府県の人が読んで分かるのかなと思うくらいの大阪弁とテンポのいい文章にゲラゲラ笑った。

読み終わった後、不思議なことに「なんと前向きな話なんだろう」という感想を持っている〝今〟の私がいた。人との出会いや関わりのなかで、幸福を感じるのと同時に、苦しさや切なさも味わうが、どうなるか分からない未来を憂うのではなく、〝今〟の気持ちを一番大切に、〝今〟を目一杯楽しんでいる自分を感じ続ければいい、というメッセージを受け取れた。〝今〟の自分が未来の自分に対してできることは、〝今〟見れるものを見て、〝今〟触れれるものに触れ、〝今〟会いたい人に会うことだと、改めて思った。

色あせない作品は、最初に触れた時には意味が分からなくても、時を経て、また触れた時に「いろんな人との関わりの中で、あの頃よりも人の心を受け入れられるようになっているんやよ、大丈夫」と「考え方の変化」や「心の成長」をその人にお知らせすることができるのだと実感した。

執筆を始めてから、一体何を伝えたくて書いているのか、と自分を見失いがちな私に「あんた大丈夫や、自信もって頑張りや！」と天先輩に言われたような気がした。「私は田辺聖子さんの後輩やからいけるわ」と自分を自分で盛り上げて、一文字一文字書き進めていくしかない、とスイッチがパチンと入る音がした。

暑中お見舞い申し上げます

八尾産業クラブ連合会
会長　大西健造
副会長　松本忠賜
副会長　小林成禎
副会長　金田辰夫
副会長　小林文美代
副会長　長澤徳博
八尾市清水町一丁目一番六号　八尾商工会議所内
TEL（〇七二）九二二―一一八一

八尾北部産業クラブ
会長　松本忠賜
会長代行　野澤藤吉
副会長　北村良三
副会長　梶原安子
副会長　島田真輔
副会長　乾真治
役員　同一
事務局　〒五八一―〇八一五　八尾市宮町三―三―十一
電話（〇七二）九九七―一六〇〇

八尾東部産業クラブ
会長　佐藤一武
副会長　長澤徳博
副会長　葉山寿
副会長　上田誠
副会長　西村成広
役員　同一
事務局　〒581―0851　八尾市上尾町四―一―三
電話（〇七二）九九七―八三五五

八尾中央産業クラブ
会長　小林文美
副会長　阪野勢代
副会長　昌和彦
副会長　多田羅みづ代
副会長　長谷川秀
役員　同一春男
事務局　〒581-0044　八尾市木の本二―一
電話072（922）7477

志紀産業クラブ
八尾南産業クラブ

日本商運株式会社
代表取締役社長　田中康正
〒581-0018　大阪府八尾市青山町一丁目六番五号
TEL（〇七二）九九二―九七六七（代）
FAX（〇七二）九九五―二二二九

八尾ライオンズクラブ
会長　稲垣俊彦
幹事　松本忠賜
会計　玉田浩
〒581-0006　八尾市清水町1―1―6　八尾商工会議所内
TEL 072―922―3767

文学座公演　再びこの地を踏まず
―異説・野口英世物語―
日程　2019年9月3日（火）
14：00開演（13：00開場）※16：45終演予定
※公演終了後、ロビーにて出演者によるアフタートークを予定。
会場　八尾プリズム小ホール（八尾市文化会館）
チケット　全席指定・税込
●一般 4,200円（当日300円増）
●フレッシュシート 25：1,000円 <25歳以下>
●障がいのある方とその介添えの方（1名様まで）：3,600円（当日300円増）
※25歳以下・障がい者割引チケットご購入の際は証明書（学生証・障がい者手帳など）をご提示ください。
※就学前のお子様のご入場はご遠慮下さい。
PRISM HALL 八尾市文化会館
チケットのお求め お問い合わせ　プリズムホールチケットカウンター ☎ 072-924-9999
プリズムホールウェブサイトチケット http://prismhall.jp/

一級建築士事務所　「200年住宅リフォーム理念」
どこまでも続く　永いおつきあいを
キッチン・トイレ・バス・洗面のリフォームはもちろん、畳の表替えや、外装・耐震補強など、お家のあらゆるご相談に応じます。
サンコーではお客様目線に立ち、品質・施工・ご予算に無駄のないプランをご提案します。
サンコー物産株式会社
本社　〒550-0015　大阪市西区南堀江4丁目33番29号
E-mail：info@sankobussan.co.jp
http://www.sankobussan.co.jp/
お問い合わせはお気軽に TEL.06-6533-1271
東京営業所　名古屋営業所　大阪営業所　和歌山営業所　福岡営業所

第７回世界に羽ばたけ『夢』スピーチコンテスト
支援金額：120万円
【本選開催日時】2019年10月14日（月・祝）14時～17時30分
本選開催場所：大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天
住所：大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10
主催：一般財団法人青少年夢応援隊
協賛：株式会社サンクレスト
後援：大阪府、東大阪市
公式サイト：http://yumeouentai.com
【開催趣旨】将来の夢や目標があるが、経済的支援を必要とする若者が自身の「夢」をテーマにスピーチを行い、受賞者を選定、支援金権利を授与いたします。
【応募資格】大阪在住または在学・在勤の16歳以上25歳までの青少年（1994年4月2日～2004年4月1日生まれの方）
【出場者一次選定】
作文を基にスピーチコンテスト本選出場者10名を選考いたします。
①公式サイトより『出場申込書』をダウンロードし、必要事項を記入
②『夢』というテーマで作文を書いていただきます。
また、受賞した際の支援金の使途も記載ください。
※原稿用紙（400字詰め）にて3枚まで
※手書き、パソコン等問わない
③応募方法：『出場申込書』と『原稿』を併せてメール又は郵便でお送りください。
※『出場申込書』と『原稿』はHPよりダウンロードしてください。
※メールを送る際の件名は「スピーチコンテスト応募」としてください。
④送り先：郵送の場合　宛先：大阪府東大阪市南上小阪12-42　一般財団法人青少年夢応援隊　スピーチコンテスト企画係宛
メールの場合　info@yumeouentai.com
問い合わせ☎06-6725-0511
⑤原稿締切：2019年9月6日（金）必着
東大阪の企業　株式会社サンクレストが応援しています